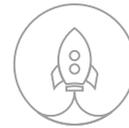


SINAP Journal

Winter 2022

SINAP SERVICE

私たちにご相談ください



新規事業 サービス立ち上げ

シナップでは、私たちの持つサービス開発の経験、ITに関する知識を活かし、クライアントと話し合いながら、リーディングカンパニーやコンセプトダイアグラム、バルソナ・シナリオ法などを用いて、ビジネスプランを具体化しお手伝いをします。またモックアップ、プロトタイピングを行い、迅速に仮説検証を行うアプローチなど、これまでのワークフローに縛られない、クライアントとの新しい組み合わせ、新しい価値の創出に取り組んでいます。



UXデザイン プランニング

シナップが進めるプロジェクトではUXデザインのプロセスをベースに、ユーザーのことをよく知り、サービス全体の中でその体験がどうあるべきかを、ユーザーの視点、ビジネスの視点それぞれで考え、課題の抽出、要件定義、解決策の提示を行い、精度の高いアウトプットをめざしています。シナップではサービスの新規立ち上げからリニューアルまで、企画・プランニングから携わり、プロジェクトローンチまでをトータルでサポートします。



Webサイト/アプリ 制作・開発・運用

デザイン能力、開発能力、品質管理能力、プロジェクト管理能力の高さもシナップの強みです。私たちは自分達の考えたプランを実現する高い制作・開発能力と、遅滞なくプロジェクトを進行し適切な品質を担保する能力を有しています。社内外の様々なプロジェクトを通して蓄積された経験やR&Dなど先進的な技術に関する取り組みの結果も、積極的にクライアントワークに還元しています。



グロース運用と 継続的な成長

シナップではWebサービスのUI/UX改善、ABテスト、DMP+MAツールの活用、オウンドメディアの運用など様々なマーケティング支援を通して、サービスの継続的な成長をお手伝いしています。社内にはABテストを専門に扱うチームを擁し、これまで養ってきたナレッジとUXデザインで得られた知見や仮説をもとにテスト・接客を実施、より成果の出る施策を積み上げることで、継続的な成長に寄与します。

<https://sinap.jp/>

 <https://www.facebook.com/sinapinc>

 @sinapinc

 info@sinap.jp



AB testing by SINAP

シナップのABテスト

みなさんはシナップが実はABテストに強い会社だということをご存知でしょうか。

シナップはスローガンに「Designs to Grow(成長をデザインする)」と掲げているとおり、作るのではなく、サービスを成長させることを目的としている会社です。

そのため、シナップでは様々なグロース支援を提供しています。なかでもABテストは、テストディレクターやアナリストが在籍する専門チームがあり、年間500本以上の運用実績を有しています。

そこで今回はシナップの強みの一つ、ABテストサービスをご紹介します。と思います。



<https://sinap.jp/lp/ab/>

サービスを成長させる シナップのABテスト支援

ABテストとは

ABテストとはサイトやアプリの特定のパーツや表現を複数パターン用意し、アクセスしてきたユーザーにランダムで表示することで、どちらのパターンがよりよい成果に繋がるかを検証する手法です。

国内では、2021年12月時点で5000ドメイン以上のWebサイトに、Google オプティマイズ、Optimizelyなどのテストツールが導入されており、そのニーズは年々高まりをみせています。

本記事をお読みの方は既に実施されているという方も多いのではないのでしょうか。

ABテストを取り入れるメリット

ではABテストを取り入れるメリットとはどこにあるのでしょうか。

大きな改修をする前に小さく試すことができる

ABテストは、少ない工数で仮説の検証ができるため、リニユアール等の改修作業に比べて少ないリスクで改善を進めることができます。

その結果、間違った仮説による無駄な改修作業を事前に防ぐことができ、

テスト結果が悪かった際にはすぐに元のパターンに戻すことができます。

■実際のユーザーが使用したデータで判断できる

テストパターンを配信してユーザーに実際に使ってもらい、その結果を元に判断することができます。

ユーザーの利用結果から定量的に判断することができるので、「なんとなく」「勘」「鶴の一声」で改修内容が決まってしまうのではなく、実際のユーザーの反応を活かした納得感の高い判断が可能です。

■テストを繰り返すことでサイト全体のパフォーマンス向上に繋がる

トップページ、登録フォーム、主要コンテンツなどでABテストを重ね、仮説検証を繰り返すことでサイト全体の改善に繋がっていきます。

検証結果をナレッジ(知見)として蓄積し、チームメンバーで共有することで、新たな仮説を導き出したり、その後のABテスト設計や実装などサイト運用の様々なシーンで横展開して活用することができます。

シナップによるABテストの特長

シナップではUI/UXの改善に加えて、アクセス解析などのサイト分析

基盤やB2Gダッシュボードの作成、MAツールの活用など様々なグロース支援を行っています。なかでもABテストは年間500本以上のテストを行う専門チームがあり、テストの発案から実施・効果検証まで、継続的に改善サイクルを回す「ABテスト運用支援サービス」を提供しています。

■顧客ビジネスとユーザーの深い理解+成功事例を踏まえたテスト

「ABテスト運用支援サービス」では効果的なテスト案を考えるために顧客ビジネスとユーザーのことを深く理解するためのUXリサーチと、サイトの状況を理解するための動線分析を行い定量・定性の両面から理解を深めます。ここで得られた知見を元に、ユーザーの抱える不安や不満といった仮説やUI上の課題を見つけ出し、解決のためのテスト案を考えてい

きます。その際、豊富なテスト経験で得られた成功事例をしっかり踏まえることで、テスト初期から効果の高いテストを回していけるのも大きな強みです。

■データを元に成功を積み重ねる

テストの判断に必要なボリュームが溜まった段階で、結果の判断と仮説検証を行います。良い結果が出ることはもちろん嬉しいですが、間違った仮説がわかることも同じくらい大切です。データを元に間違った仮説を捨て、検証できた仮説はさらに強化し成功を積み重ねていくことで、ABテストの成果は大きくなっていきます。

私たちシナップは様々なグロース支援を通してビジネスの継続的な成長をお手伝いしています。ご興味のある方はぜひお気軽にご相談ください。

※ ITmediaマーケティング「ABテスト」ツール 売れ筋TOP10(2021年12月)

ABテストの成功事例

フォームの最適化

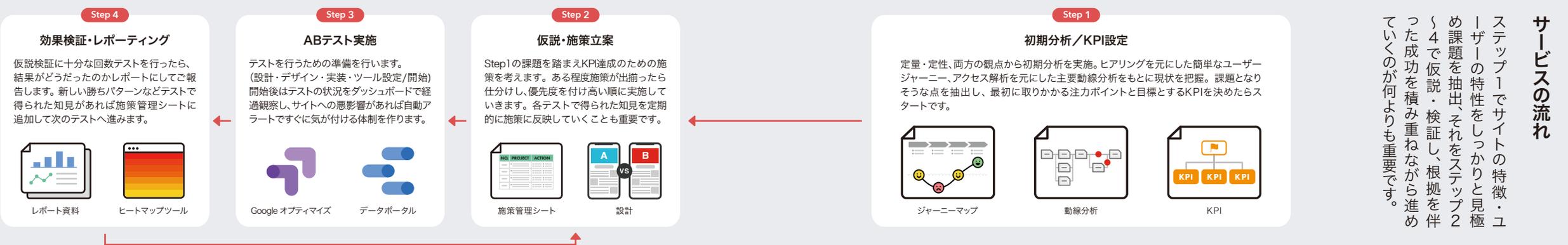
フォーム入力完了 改善率 **122%**

段階的にフォームを最適化した結果、CVRが大きく向上。フォーム項目数を減らし簡単に見えるテストや、入力欄の近くに登録メトリック、累計登録人数など、入力後押しする要素を入れるテストの効果が高かった。

セグメントによる効果的な出し分け

資料請求完了 改善率 **120%**

エントリーフォームの入力率が高いユーザーと低いユーザーそれぞれにランキングを表示。その結果、入力率が高いユーザーの資料請求数が大幅にアップ。セグメントによる出し分けで効果的なテストとなった。





このままだと目標数字が達成できない

テストを積み重ねても効果が現れず、最終的な目標数字には届かない。目標達成に必要な成長サイクルは、一朝一夕では得られません。自社内でコツコツ進めるよりも、ABテスト運用のプロに頼むことで圧倒的に早いスピードで目標数字に近づくことが可能です。



やりたいテストが実装できない

実施したいテストはたくさんあるが、ツール設定や実装作業に不安があり、リソースも足りない。実はABテストツールを使いこなすのはそれほど簡単ではありません。ツールのGUI操作だけでは難易度が高いテストの実装は、外部パートナーを頼ることも必要です。



CVRが思うように上がらない

ABテストを実施しても、なかなかCVRが改善しない。そんな時はインパクトが大きい箇所でもテストすることが近道かもしれません。流入が多いページ、ユーザーが注目しやすいファーストビュー、コンバージョンに近いボタン要素など、影響の大きい箇所での改善に目を向けてみましょう。

ABテスト運用よくあるお悩み

ABテストはきちんと運用して継続的に改善サイクルを回すことで大きな成果を感じることができます。しかしその分最初のワークフローを作り改善サイクルが回るようにするには様々なノウハウが必要です。そんなABテストにおけるよくあるお悩みを集めました。少しでもピンときた方は、お気軽にシナップへお声がけください。

ABテストのお悩み解決 シナップがサポート！

サイト改善やABテストに課題をお持ちの方はお気軽にご相談下さい

- **勝率を高めるための調査/解析、仮説立案**
あてずっぽうでABテストを回しても、なかなか勝率は上がりません。改善に繋がる重要ポイントを見つけ、仮説ベースで施策案を出し、テスト結果を踏まえて定期的に仮説を見直すことが重要です。
- **経験豊富な専門チームが担当**
年間500本以上のABテストを運用する専門チームが担当します。専門チームなので安定稼働。豊富な知見の横展開。効率的なワークフローを提供します。
- **将来的な内製化もサポート可能**
「社内で対応したいけど、ノウハウがない」そんなご要望にも対応可能です。初期の導入支援のほか、難易度が高い作業はプロに任せて、自社で対応可能なところは社内ですと、コストの最適化が可能です。

<https://sinap.jp/lp/ab/>



結果の解析や考察がまとまらない

テストツールでは結果判定が出たものの、その結果に至った根拠が導けない。仮説が正しかったか振り返り、季節や広告流入などの外的要因がないかなど、結果の優劣だけでなく客観的にデータを捉えてみましょう！



運用を外部に委託していて外注費が高い

ABテストをもっと実行したいが、テスト運用を社外に発注していて費用が膨らんでしまう。ABテストの重要性が高まった時こそ、より効率的なテスト運用体制を整えるチャンスです。社内の人員でもABテストを運用できるようワークフローを作り、ABテスト実装・運用スキルを習得するなど体制を整えていきましょう。



ABテストの施策ネタが枯渇してしまう

効果が出そうな施策は既にやり尽くしてしまい、新しいテスト案がなかなか思いつかない。そんな時は、負けたテストでも実施時期を変えてみたり、勝ったテストを他のページでやってみるのも手です。実施済みテストから新たな仮説を立ててみましょう。



06 シヤア専用マグ
何年か前に同級生の友人から誕生日プレゼントに頂いたマグカップ。夏は冷たい麦茶から冬は熱い紅茶まで通年使ってます。

村山 貴裕
フロントエンドエンジニア
地元の制作会社を退職後シナップに入社。現場叩き上げのスキルでコーディングを行うフロントエンドエンジニア。辛い食べ物は苦手、ついでに越後人とは思えないお酒の弱さ。現在地元新潟よりフルリモート中。



05 チタン注ぎ口『森乃雫』
セラカップやケッカーに装着すると、ドリップポットのように細くお湯を注ぐことができるチタン製の注ぎ口です。主にキャンプ用ですが、使い心地が楽しいので自宅でも愛用しています。

三國 翼
ディレクター
制作会社数社を経て、2012年にシナップに入社。グロースチームのリーダー。神奈川県生まれ、佐渡ヶ島育ち。家には猫が2匹。こどもが1歳になりました、相変わらずかわいい。



08 こどもの手口拭き
こどもが離乳食を食べるときに口周りが汚れるのですが、ティッシュだと水で溶けて上手に拭けなかったり肌を痛めたりするのでウェットシートの手口拭きが役立っています。手口以外にもちょっと掃除したいときにすぐ拭けるのでこれのおかげで食卓周りが快適です。

久保田 さや佳
デザイナー
グラフィック・木工・建築・Webデザインと広く学び、広告代理店を経てシナップへ。使いやすいと結果を出せるデザインに挑戦し続けている。デジタルだけでなく手づくり品も好き。最近ではこども(0歳)の成長を見るのが日々の楽しみ。(育休中です)



07 snow peak チタンダブルマグ
キャンプ用にと購入したマグカップ。無骨でシンプルな見た目、軽くて丈夫なチタン製。持ち手が量めてかさばらず機能的。二重構造で冷めにくく、昼はアツアツのコーヒー、夜はキンキンのハイボール。自宅でもちょっとしたキャンプ気分も味わえて重宝してます。

飯山 嘉之
デザイナー
大学でマスコミュニケーションを専攻し、音楽関連企業で経営企画・宣伝販促・営業を経てシナップに。UIデザイン、CMS美装、CV改善を担当。デジタルインストール、写真、ポルタリング、サウナを好むデザイナー。2022年はアウトドアサウナに溺れた。

テーブルウェア キッチンアイテム

お気に入り！ 家にいることが多くなるこの季節、おうち時間を快適にしてくれ



02 ツヴィリングの包丁
趣味で料理をはじめた数年前、シナップから誕生日プレゼントで「世界一切れる」とも評されるポップ・クレーマーのナイフを頂きました。使ってみると、世界一かは分かりませんがw、本当によく切れて、手になじみ、料理が捗りました。勢いで同じツヴィリング製の三徳包丁を購入、いまでは手放せない愛用品です。

大川 貴裕
取締役 クリエイティブディレクター
多くのWebサイトをはじめ、企業のブランディング、UXデザインなど幅広い分野で活躍している。個人で活動しているグラフィックデザイン分野では国際的なデザインコンペティション受賞歴も。生粋のハマっ子。



04 タイガー 土鍋圧力IHジャー炊飯器
ずーっと安物を使っていたのですが、ちょっと良いやつにしました。お米の粒粒がしっかり感じられ、ここは料亭かと思えます。冷凍したご飯もしっかり美味しいです。毎日食べるものにはもっと早く投資するべきでした。

鈴木 善明
ディレクター
イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点には絶対に忘れない。私事は写真撮影・映像制作・猫・ランニング。



01 有田焼・太郎窯の納豆鉢
旅行で有田国際陶磁展に行った際に会いました。老夫婦が営む小さな窯元で、孫に喜んでもらうためにスパイダーマンなどを描いたことをきっかけにポップな絵柄が際立つ作品が生まれたそうです。我が家にあるのは富士山を背景に虎？猫？がドーンと描かれた納豆鉢で、食卓にこれがあると気分が上がります。今年も大活躍してくれることでしょう。

坂西 裕彰
代表取締役 プロデューサー
Web黎明期から一貫して顧客企業のビジネスに深く寄り添う提案を行い、指揮してきた数多くのプロジェクトはクライアントから高い評価を得ている。WebSig24/7モデレーター。長い黒髪が目印。



03 横浜中華街で買った 照宝のせいろう
肉まんや野菜を蒸すのに電子レンジじゃちょっと味気ないかな？と10数年前に横浜中華街で買った照宝のせいろうを使っています。今も美しい姿のままで色々な食材を蒸して楽しんでいます。福岡へ移住してからパートナーの柿内夫妻が横浜のしゅうまいや肉まんを送ってくれるので(涙)せいろうで美味しくいただきます。

小茅 奈美
デザイナー
テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てシナップ設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザインと、絶えない笑顔で創業からシナップを支える。福岡在住。

STAFF VOICE

14 ガラスの片口とグラス



宇宙をイメージされて作られているガラスの食器です。光や飲み物を入れた時に雰囲気が変わり模様がとても綺麗で気に入っています。最近日本酒にはまっているので友人が遊びに来た時などにも使っています。

ディレクター 松山 里紗

神奈川県川崎市生まれ。美容専門学校を卒業。前職ではWeb制作会社でエンジニアとしての経験を経て、シナップに転職。ゲームと音楽と酒と珈琲が好き。アウトドア派。



13 18年モノの手づくりミトン



中学時代に家庭科の授業でつくったキッチンミトンが、我が家ではいまだ現役で活躍しています。18年の間に焦げもしたし、取れない汚れもついてしまったけれど、家族に大切に使用してもらえ嬉しい限りです。

総務/秘書/広報 三木 春香

千葉県生まれ。食品メーカー、人材紹介会社の営業を経験の後、責任を持った自由のもと次代を作るシナップに魅力を感じ、Adminとして入社。好きなお酒はウイスキーの中でもシングルモルト。



16 結婚祝いの電動ミル



友人から結婚祝いで、Russell Hobbsの電動ミル ソルト&ペッパーをもらいました。片手でボタンを押すだけで使えるので、忙しい料理中にとっても便利。スタイリッシュな見た目、食卓に置いても様になるのも気に入っています。

ディレクター 小石川 道子

これまでWeb制作のインストラクター・営業・ディレクションを経験。様々な案件に深く関わりたいという思いからシナップに入社。趣味はクロスフィット。札幌出身。



15 大学の卒業式で後輩からもらったタンブラー



卒業式の日に所属していた校友会(生徒会的な集団)の愉快的な後輩一同から酒飲み先輩一同にお揃いで配布されたステンレス製タンブラー。どの製品かすら忘れてしまいましたが、お気に入りのタンブラーです。コロナが収まったら、同期一同やこれくれた後輩とお酒をのみたいなあ。

ディレクター 塩入 樹

神奈川県平塚市出身。自動車部品メーカーのEC担当、旅行代理店のWebディレクターを経験後、制作会社で幅広い案件に関わりたくと考えシナップに入社。カメラとライブと野球が好き。最近をよく週末にライブフォトを撮っているらしい。愛用機はニコン Z7IIとNIKKOR Z 50mm f/1.2 S



テーブルウェア キッチンアイテム

お気に入り!

家にいることが多くなるこの季節、おうち時間を快適にしてくれる

10 手作りお茶碗と湯呑み



ふとろくろを回してみたいと思い、神奈川県のとある工房的なところで初めて作った、お茶碗と湯呑みです。お茶碗はサイズもちょうどよく、味のあるいびつ具合で気に入っています。湯呑みは思ったより小さくなってしまったので、ざるそばのつゆ入れになりました。家でざるそば、なかなかしないんですが。

ディレクター 北川 雄太

小中高大と大阪で過ごした関西人。ITコンサルタントとして金融系のシステム開発を経験後、UXに注力したいという思いからシナップへ入社。猫派。朝シャン派。好きな言葉は「コスバ」。



12 Joseph Joseph キッチンツールセット



友人が新居祝いにくれたキッチンツールセット。料理中にお鍋やフライパンのそばに置く際、先端部分が机につかないように工夫がされているので、キッチンが汚れることがなく、とても使いやすいです。場所もとらないので見た目もすっきり。重宝しています。

デザイナー 竹田 笑里

埼玉県生まれ。カメラ専門店Webデザイナーを経験後、より様々なデザインに携わりたくという思いからシナップに入社。趣味は写真撮影と散歩と掃除。愛犬「ちくわ(柴犬)」は最近一歳になりました。毎日かわいいです。



09 猫ちゃん食器コレクション



猫柄の食器を見るとつい買ってしまいます。中でもお気に入り、親子猫の絵柄に一目惚れした水色のガラス皿。可愛すぎてめったにせず、たまに果物やアイスを入れて慎重に食べています。

ディレクター 村田 歩美

Slerにて業務アプリケーションのプロジェクト管理・開発全般を経験。ユーザ視点でのサービス作りに携わりたく思いシナップへ入社。大阪生まれ東京育ち。猫と果物が好き。



11 鎌倉で作ったお皿



山の中の森に囲まれた広場みたいな工房で作ったお皿です。柄になっている植物は周りの森から採ってきて並べたもので、素材などは忘れてしまったのですが、初めての体験だったのでとても楽しかったです。

フロントエンドエンジニア 小川 大樹

アパレル販売員を経験後、もの作りがしたいという思いからweb業界へ転職。独学でフロントエンドの技術を学ぶ。無垢材や綿100%のシャツなどナチュラルな雰囲気のものが好き。



キャンプ用に買った セラカップ



元々はキャンプ用に買ったセラカップ、カップ、お皿等ですがそれらを毎日使っています。家でも使ってみて買って正解だったか失敗だったか等考えながら使っています。セラカップはお茶碗にもお椀にも取り皿にもつかえるのでほんと便利です。



パートナー 柳谷 真志

CMSを中心としたWeb制作会社 bit part の代表社員でディレクター。大規模から小規模まで多くのWebサイト構築案件に関わり、CMS案件の設計業務やプロジェクトの進行管理などのディレクション業務を担当。チームでの開発をスムーズに進められるように日々意識しています。

読売巨人軍カップ



公式ファンクラブの特典でもらった読売巨人軍カップ5客セット。私以外の家族のだれもが興味のないカップだが、自分にとっては大のお気に入り。「人」の文字のカップだけを使っている分には、なにか深い意味があるようにも見える、そんなカップを使いながらDAZNで試合を観戦したりしています。



パートナー 大崎 誠

フリーランスのPM。制作会社、Sler等を経て2006年に独立。様々な案件のPM業務や運用コンサルティング業務に従事しつつ後進指導の講師業もしている。幼児教育や世界の鍋料理探検などもライフワーク。将来はタイに移住するのが目標で、タイ語の学習を継続している。— d-three (ディースリー)

魚を裁くセット



出刃包丁、柳刃包丁、まな板、ウロコ取りのお魚を裁くセットです。お店で買って来たものや、自分で釣ったものなどかなりの数をさばっているのですが道具は重要です。長く使えるものなので、合羽橋とかでいいものを買って愛用しています。



パートナー 柿内 暢昌

シナップで7年間Web制作に従事した後、2014年からフリーのフロントエンドエンジニア及びテクニカルディレクターとして活動中。Webアプリのフロントエンド作成、インタラクション、アニメーションの作成を得意としている。屋号はスタジオオカッキー (studio-kakky.com) 3度の飯も釣りも好き。

プラスチックは素敵



うっかり壊してしまうかもしれない布さと表裏一体になった憧れもあって、子供の頃から陶器が好きです。一方、かつて恐る恐る陶器に触れた自分よりさらに小さな子が二人いる我が家には、軽くて安全なプラスチックの食器が増え、いまはその頼もしさで可愛らしさも大好きになりました。外でも使えます!



パートナー 松島 智

コミュニケーションとデザインの研究で大学院修了後、シナップ在籍11年を経て独立、以降もパートナーとして深く関わる。屋号 String & Letters (紐と手紙/文字列と文字) のとおり「読む」ためのデザインで評価が高く、開発したEPUBビューワ「Bibi」は世界中で利用されている。息子はもうすぐ3歳、娘は1歳ちょっと。

テーブルウェア キッチンアイテム

お気に入り!

家にいることが多くなるこの季節、おうち時間を快適にしてくれる

大きい真空断熱タンブラー



在宅で仕事をしている私は、一度着席するとずっとそのまま仕事をしてしまうため、長時間着席に耐えられる大容量の真空断熱タンブラーが活躍。暑い時期でも氷が溶けにくいことが魅力!しかし、容量小さめに中身補充に何度も席を立つほうが健康に良いはずなので、良いオトナは真似しないように。



パートナー 長谷川 広武

主にMovableTypeやWordPressの構築やフロントエンド側の制作を行っている制作会社HAMWORKS(ハムワークス)の代表兼 bit part 社員。新潟県生まれ札幌在住。ニックネームは会社名にも入っている「ハム」、本名が長いために間の5文字が捨てられたのがきっかけ。

フィンランドの蚤の市で 買って来たマグカップ



10年以上前に北欧3ヶ国(スウェーデン・フィンランド・デンマーク)旅行で立ち寄った蚤の市で買ったイッタラのTeemaというマグカップ。今は廃盤になった人気アイテムでメル○リで売ったらいくらになるんだろうかと思いつつ使っています。



パートナー 綿村 和也

フリーランスのデザイナー。山口県生まれ、千葉県育ち。デジハリを卒業後、2003年からSler企業のUIデザイナーとしてキャリアをスタート。父親が元カメラ屋のため、小さい頃からフィルムカメラに親しむ。最近の趣味は娘のために買ったピアノでどの位置から覚えつつアンパンマンの曲を弾くこと。

重いけど愛しい、 ル・クルーゼ



ひと昔前、おしゃれなホーロー鍋といえはル・クルーゼ。当時は結構な値段でしたが、がんばって購入して、20年近く愛用しております。ただねー、マジで重くて。歳とともに扱えなくなっています。でも、その重さと厚みのおかげでカレーや肉じゃがが本当においしく作れるんです!やっぱり手放せないわ。



パートナー 西口 みな子

大阪で3年、東京の広告制作会社でコピーライターとして12年勤務。金融・流通・住宅・生保・出版等の広告と企画・販促を経験し、フリーランスに。一番メジャーな仕事は映画ドラえもん(2006~2013)のキャッチコピー。

アラジン魔法の ドリップポット



0.5Lの小さな銅製珈琲ポット、もう15年は使ってます。小さく軽くて、腱鞘炎の人でも楽に扱え、細長い管から細〜くお湯を落とせます。魔法のランプなら魔法のポット、これを使えば誰でも美味しい珈琲を抽出できる、かも?



パートナー 石田 智之

1990年代からDTPやWebに関わり、現在はトリムマークの社長として設計・デザイン・撮影などなんでも屋として活動中。高尾山の麓に住み、早朝トレランの日々。

STAFF VOICE



リモートワーカーの晩ご飯

リモートワークの利点として、自宅で食事をする機会が増えたという人も多いのではないのでしょうか。首都圏以外にも大阪、福岡、新潟といった各地にメンバーがいるシナップでは彼らからご当地ならではの晩ご飯の話題があがります。そこで今回は、福岡在住の小茅に福岡と言ったら博多！博多と言ったらコレ！熱々の「モツ鍋」レシピを教えてくださいました。



材料:2人前

- ・牛モツ 240g
- ・キャベツ 1/4
- ・ニラ1/2束
- ・豆腐 1/2丁
- ・ゴボウ 1/2
- ・ニンニク 1片
- ・白ごま 適
- ・唐辛子 適
- ・鍋スープ 220ml

(市販の鍋スープ醤油味でも味噌味でもOK)

* 鍋なので、具材、量はお好みで大丈夫です

作り方

牛もつは水でよく洗い、ぬめりをとった後、沸騰した湯に入れて3分程度、余分なアクや臭みを取り除くために茹でこぼしをし下処理をしておきます。

ニラ、キャベツ、豆腐、ゴボウを食べやすいように切ります。

ニンニク、唐辛子はスライスしておきます。

鍋にスープ、ゴボウを入れ火にかけ、沸いてくる頃合いを見計って、牛もつ、キャベツ、豆腐を入れて煮込んでいきます。

ニラを乗せ、その上にスライスしたニンニク、唐辛子、ごまを散らします。

SNS用映え写真を撮るならココ！

全体に火が通ったら完成です。

Remote Work

アップデートしていくシナップのリモートワーク

『SINAP Journal 2020 Summer』ではシナップのリモートワークで利用している数々のツールをご紹介します。あれから1年半——、シナップでは利用するツールの変更や使い方の工夫をするなど、これまでのリモートワークをより進化させてきました。

Slackと分報

大きく変わった点としてはSlackと分報の導入です。現在、シナップでは社内プロジェクト、社内連絡関連のチャットはすべてSlackに集約しています。そして、それに合わせて「Tandem」というアプリによる状況共有をやめて、「Slack」で各自が自分たちのステータスを連絡し合う「分報」をはじめました。

「分報」は読んで字の如く「日報」よりも細かい粒度での状況報告です。

こう書くとなんだかめんどくさいように聞こえますが、「お昼入ります」「会議終わりました」といったように、どちらかと言えば、Twitterで呟くような、カジュアルな感覚に近いものがあります。お悩み事を独り言のように呟けば、それを目にしたメンバーがアドバイスや相談にのってくれたりもします。

交流会はSpatialChatで

シナップではコミュニケーションの促進のため、隔月でオンライン懇親会を行っています。フルリモートワークになってからは、ますますコミュニケーションの機会として大切な懇親会。しばらくは会議などと同じzoomを利用していましたが、最近は趣向を変え、SpatialChatという不思議なチャットツールを使って行っています。

SpatialChatの面白いところは、画面の中の自分のアイコンをドラッグすることで、画面内を自由に移動でき、相手に近づくと声が大きくなり、離れると声小さくなる点にあります。こうして、同じ画面で参加していながらも、いくつかのグループに分かれたり、そのグループ間を移動できたりと、飲み会の席のように、近くにいる人と盛り上がり、興味のある話題のグループへ移動できたりして楽しめます。

上にあげた2つは比較的わかりやすいアップデートでした。これからもより働きやすい環境をめざして、日々試行錯誤していきたいと思えます！



Twitterに似た気軽な投稿で状況共有をする「分報」



自分のアイコンをドラッグすることで画面内を移動できるSpatialChat

* 画面はイメージです。